

公開まちづくりセミナー2007

「ひろしまハウスがカンボジアから日本を笑う」



事業委員会委員長 内本 康雄

ていくことは、この地に生きる者の義務であることを痛感いたしました。現在の日本はかつての悲惨な戦禍の記憶を忘れ、広島若者ですら原爆への関心も薄くなっています。まさに「日本は笑われている」現状です。常に戒めることを怠らず、後世に語り継ぐこと、行動することによって記憶の風化を食い止めることが我々の使命のように感じました。

第2部の鼎談では、貧困・温暖化・戦争など世界の状況認識、見えていない日本の危機など日本の状況認識を確認した上で、「ひろしまハウス」の意義一何を生み、何を残し、どう広がるか、この時代に「ひろしま」から発信すべきは何か、などをテーマに行われました。

会場ではカンボジアのパネル展示や募金箱の設置なども行い、多くの方から寄付をいただきました。今回のセミナーは、初めての鼎談という形でしたので、準備から当日までどのようなセミナーになるのだろうか、期待と不安でいっぱいでした。しかし当日は建築士の方ばかりではなく、ひろしまハウス建設に参加された一般の方など、164名もの方にご来場いただき、大変有意義なセミナーとなりました。ご参加いただいた皆様、多くの寄付をしていただいた皆様、本当にありがとうございました。

「建築士の日」（7月1日）の行事として、公開まちづくりセミナー2007を7月24日（火）広島国際会議場で開催いたしました。第1部は早稲田大学教授で建築家の石山修武先生による基調講演。第2部では石山先生と共に「ひろしまハウス」の建設にかかわられた平岡敬前広島市長、錦織亮雄広島県建築士会会長を交えた鼎談の形で実施しました。

石山先生の講演は、カンボジアの地に世界に平和を問う礎として企画された「ひろしまハウス」の建設の意味を、深く考えさせられるものでした。被爆体験のある広島や長崎から、世界に向けて平和へのアピールを発信し

姫路文化財視察



7月29日（日）、士会三原支部と三原市歴史的建造物調査研究会の共催による、姫路文化財視察を行いました（参加者34名）。

まずは天台宗別格本山書写山円教寺へ。駐車場から山頂駅までロープウエーで向かい、仁王門をくぐり、趣のある歴史的建造物を広島大学の三浦先生の資料を見ながら詳しく解説をしていただきました。西の比叡山とも呼ばれる西国27番札所で、平安時代の966年に開かれた兵庫県下屈指の名刹。千年の歴史が光と風に交錯する静寂郷は、訪れる人を温かく迎える「祈りの山」でした。深い森の中に歴史の重みを大いに感じましたが、アップダウンの激しい道のりで、久々にいい汗をかきました。

三原支部広報委員会 峯岡 紘六

次の視察地は姫路城。国宝姫路城は1993年に法隆寺の仏教建造物と共に、我が国で初めての世界文化遺産に登録されました。大天守を三浦先生の解説を聞きながら、外観5層・地上6階地下1階まで直径1m近い東西の心柱を中心に木構造を見学して回り、壮麗な城郭建築を再認識させられました。扇の勾配の石垣を取り巻く連立式の天守群を急ぎ足で回り、限られた時間内でしたが、とても有意義に過ごすことができました。



最後になりましたが、幹事の方々、三原市の時元様には大変お世話になりました。ありがとうございました。次回の企画を楽しみにしています。

MONTHLY 建築士

HIROSHIMA



表紙写真について



「クレール牛田本町」

- 設計・施工／大成建設(株) 広島支店
- 所在地／広島市東区牛田本町
- 構造／鉄筋コンクリート造
- 規模／地上12階(31戸)
- 敷地面積／1,233.87㎡
- 建築面積／448.24㎡
- 延床面積／2,947.07㎡
- 写真撮影／宇和写真広島

敷地は京橋川のほとりに位置し、近隣には安田学園の白島キャンパスがあり、落ち着いた住宅地の中に建設された集合住宅である。ここに建つ建築は、全方向に対して凜とした立ち姿であることが必然的に求められた。

外壁は、外界の時々刻々の変化を映し出しやすい白磁の肌合いを有するタイルを採用。ガラスのバルコニー手すりは川面のきらめきを映し出す。最上階はガラスの箱をイメージしたオーナー住宅である。その足元を水盤が取り囲み、浮遊感を増長させている。室内からは、白い床の大理石と外部の水盤と京橋川の川岸緑地とが繋がって、風の流れ、水の流れを身近に感じられる空間となっている。

基準階各住戸は、各部屋を構成する間仕切り壁を天井までの可動タイプとし、住戸間口ほぼ全幅が外部に開かれるような設定とした。また、バルコニーの手すりはガラスを全面に採用することにより、住戸間口が対岸の自然風景を切り取る額縁と成り得る。南側の3室を独立もしくは1室として展開することが可能な設定は、住み手の使い勝手に柔軟に対応できる仕様となっている。

講習会「CPD制度と基準法改正について」

福山支部事業委員会 河相 充宏

7月20日(金)に標記の講習会を行いました。福山支部会員と府中・福山地区の設計事務所と建築業者に案内したところ大変な反響があり、定員を超える130名の申込がありました。

前半の90分は、CPD制度と専攻建築士の申請について、本部CPD・専攻建築士制度委員長の南紀夫氏に詳しく説明をいただきました。今年度で、経験年数による緩和措置が最後ということもあり、皆さんの関心も高いものがありました。また、「建築CPD情報提供制度」と建築士会のCPD制度との違いが、なかなか把握できておらず、熱心に聞き入っていました。後半の60分は、建築基準法改正の現状について、福山市建築部建築指導課審査担当次長の高橋正樹氏に説明していただきました。その後、指定建築確認検査機関である(株)広島建築住宅センター福山営業所の伊藤倫彦氏による説明が30分間ありました。

前半・後半どちらに関心が高かったのかは???ですが、大盛況でした。講習会終了後、CPDに登録された方が10名、建築士会に6名の方が入会されました。



あなたの作品で表紙を飾ってみませんか？

随時、表紙用の写真を募集しています。写真(プリント、ポジ、データ)2～3点を設計概要、設計趣旨(400字程度)と一緒に送りください。会員の皆様からのご応募をお待ちしています。



社団法人 広島県建築士会

〒730-0052 広島市中区千田町3-7-47 広島県情報プラザ5F
TEL (082) 244-6830(代) FAX (082) 244-3840
mail : info@k-hiroshima.or.jp
URL : http://www.k-hiroshima.or.jp/

お知らせ

「CPD」及び「専攻建築士」の申請時期が近づきました!!

★申請書は広島県建築士会ホームページのトップページにあります。

<http://www.k-hiroshima.or.jp/>

★必ず、平成19年度の「広島県建築士会」の申請書を使用して下さい！

★昨年度のもの、他の建築士会のもの、連合会のものは使わないで下さい！

★ガイドをよく読んで下さい！

★提出先：「CPD」→本部
「専攻建築士」→所属の支部

●「CPDデータ登録」申請

CPD(建築士継続能力開発)制度は、11月がデータ登録の時期です。CPD単位は、データ登録をしなければ蓄積されません。必ず、毎年継続して登録申請をして下さい。特に、この春「専攻建築士」を取得された方は、今年度の登録単位分から、5年後(平成23年)の登録単位分の合計が、更新の要件となります。

データ登録の申請期間や、登録ができる研修等の条件をよくご理解頂き、お間違えのないよう申請して下さい。平成19年度の申請書用紙、記入例、申請のガイドは、ホームページからダウンロードして下さい。申請書はワード形式ですので、入力して提出して下さい。止むを得ず、手書きの場合は、丁寧に楷書で記入して下さい。必ず、当会の平成19年度版をご使用下さい。

下記が概略ですが、詳細は「申請ガイド」に書いてありますので、熟読して下さい。

□申請書入手先：<http://www.k-hiroshima.or.jp/>

- ・申請書：4種類(ワード形式)
- ・記入例：4種類(PDF形式)

●「専攻建築士登録」申請

専攻建築士登録は、毎年11月が受付期間です。元来は申請条件として、CPD250単位が必要ですが、今年度も開始3年目の緩和措置があります。ラストチャンスです。建築士免許取得後15年を超える実務実績者は、CPD単位不要で申請できます。また、15年以下の実務実績者でも、CPD100単位で申請可能です。但し、CPD制度に参加していることが必要条件ですので、まだの方は10月中旬に所属支部で手続きして下さい。

平成19年度の審査・登録申請書用紙類、記入例、審査・登録申請のガイドは、ホームページ(<http://www.k-hiroshima.or.jp/>)からダウンロードして下さい。申請書はエクセル形式ですので、入力して提出して下さい。止むを得ず、手書きの場合は、丁寧に楷書で記入して下さい。専攻建築士の申請書はかなり複雑ですので、「審査・登録申請ガイド」熟読の上、記入して下さい。

専攻建築士の登録申請に関しては、説明会を実施いたします。今年度申請予定の方は、ぜひご参加下さい。説明会の申込は同封のリーフレットでお申込下さい。リーフレットはホームページからも入手できます。参加の際には、下記のガイドや申請書

・申請ガイド：全7ページ(PDF形式)

□申請期間：平成19年11月1日(木)～11月30日(金)

□登録可能研修期間：平成18年11月1日～平成19年10月30日の期間に実施された研修、委員会、実務等

□申請方法：提出先は本部事務局です。支部ではありません。申請の方法は参加時期により異なりますので、申請ガイドを参照下さい。

① H14.11.1からH18.10.31にCPD参加の方

CPD手帳、CPDデータ登録申請書に、本年度の登録料2500円(返却時の送料込み)を添えて、提出して下さい。郵送の場合は、事前に指定口座にお振込みの上、払込金受領書の写しを同封して、お送り下さい。

② H18.11.1からH19.10.31にCPD参加の方

CPD手帳、CPDデータ登録申請書を提出して下さい。平成19年度の登録料は申込時に受領しております。但し、このたびデータ登録申請をされなくても登録料は返却いたしません。また、来年度からは2500円が必要です。

類等を持参して下さい。

□申請書入手先：<http://www.k-hiroshima.or.jp/>

- ・申請書：様式1,2,3,5(エクセル形式)【全て必要】
- ・申請書：様式3-1(エクセル形式)【必要なページのみ】
- ・申請書：様式3-2(エクセル形式)【必要】
- ・申請書：様式4(エクセル形式)【必要なページのみ】
- ・記入例：様式1～5(PDF形式)
- ・申請ガイド：全23ページ(PDF形式)

※必ず、広島県建築士会の平成19年度版申請書をご使用下さい。他の建築士会や日本建築士会連合会のものでは、受付いたしません。

□申請期間：平成19年11月1日(木)～11月30日(金)

□審査・登録手数料：1領域：16,800円
2領域：27,300円
3領域：37,800円

□申請方法：審査・登録申請ガイド(5ページ)をご覧下さい。

※各所属の支部で受け付けます。本部ではありません。出来るだけ持参して下さい。

全国女性建築士連絡協議会(全建女)に参加して

呉地区支部 藤原 千恵



7月13・14日に青森県で開催された「全国女性建築士連絡協議会」に、広島県から5名参加しました。(参加人数 275名)

1日目の「基調講演」は、白神マタギ舎代表の工藤光治氏が「自然とこだまする」というテーマで話されました。自然を守って生きる基本は欲張らないこと。我欲に走って獲りすぎると、そこに生きる生き物すべての生活ができなくなってしまうそうです。人里に下りて殺される熊の方が、マタギが猟をする熊の数よりも多いのだとか。また、「自然はもともと曲線を作るもの」とおっしゃいます。螺旋のように流れていた時を一直線に進めてしまった人間の21世紀への憂いで講演を結ばれました。

建築という仕事は、いつも自然破壊と隣り合わせです。壊した分をどこかで修復していかないと、いつか自然にしゃべり返されるのかも。自然と共存することは、すべての産業のこれからの課題ではないでしょうか。

「パネルディスカッション」は「北のまちとくらし」というテーマで 林業を営む田中裕氏、元・市浦村長の高松隆三氏、NPO法人「北国のくらし研究会」の杉山隆子氏、「まちおこしゲリラあおぞら組」の島康子氏の4人のパネリストの話を聞きました。島康子氏はとにかくパワフルで、アグレッシブ。こういう人がいないと保守的な田舎町の町起こしなんてできないのかもしれない。



夕方からは懇親会。全建女の懇親会は、ぼんやりしてたら料理が無くなるのが早く、男性との懇親会と大きく違います。

今回も女性建築士のパワーに圧倒されました。

翌日の午前中は、各分科会に分かれて勉強会。私はB分科会の「建築士制度と士会活動」に参加しました。神奈川県建築士会の代表と福岡県の代表の方がコメントーターで、神奈川県の発表者は若い男性。「女性委員会に

青年部が婿入りして」、女性委員会に青年部がくっつく形で一緒に活動しているそうです。ディスカッションでも、青年部との現在、そしてこれからのかかわり方がメインの議題になりました。年々新規会員が減っている現状では、充実した活動をするために一緒に活動するのがよいのですが、どこの県も障害があるようでした。そんな中で神奈川県がうまく共存できているのは、あえて「女性・青年委員会」と呼ぶなど、青年部が一步下がるスタンスでいるからだと感じました。

福岡県代表は、北九州市の公開セミナーとして催されている「女性のための市民建築大学」について発表。毎年テーマを決め、平成14年度から継続して開催しているそうです。現実はなかなか厳しいようで、いつも同じメンバーに負担がかかっているのだとか。いつまでも平長者がしきってはいは どんな組織もいつかよどんで頭打ちになってしまいます。不安や未練があっても、若い人に席を譲る勇気が必要かもしれません。

午後からは「弘前周遊・前川建築探訪と世界遺産編」のエキスカーションに参加。日本のモダン建築の先鋭、前川國男氏の作品が数多く残されている弘前市に行きました。最初に晩年作の「弘前市斎場(1983年)」へ。



勾配屋根を否定していた前川國男氏が弘前城内の「緑の相談所」を設計するにあたり、城内の桜を水平屋根で切ってしまうのはしのびないと、初めて勾配屋根を設計しました。その後は環境を意識し、こういう勾配屋根も取り入れるようになったそうです。

車寄せの天井は格子梁になっており、大型バスが入れないと、クレームもあるようです。「木村産業研究所(1932年)」は、ル・コルビジェに師事していたころ、フランスで知り合った木村氏の依頼で設計した建物。当時のままで残されているので、レトロでいい雰囲気でした。その後、弘前市内の市役所や市民会館などを手がけ、弘前市内には実に多くの作品が残されています。

丹下健三氏や木村俊彦氏の師匠であった前川國男氏の建築に触れることができ、柳田氏のガイドもとても分かりやすく、有意義に楽しく過ごしました。実行委員会の方々に感謝しています。



支部だより
尾道支部

平成19年度 第31回尾道地区建設関係ソフトボール大会を終えて

青年部スポーツ委員長 森川 順平



今年で31回目となるこのイベント。7月29日に無事終了いたしました。出場していただいた各チームの皆様、朝早くから出席して下さった御来賓の皆様、そして協賛していただいた方々に、心から感謝を申し上げます。誠にありがとうございました。

「尾道地区建設関係者の親睦を図る」という大会目的を再度見直し、今年は最低でも1チームが2試合できるように4チームのリーグ戦を行いました。そして各リーグ1位のチームがトーナメント戦へ進出するという試合方式に改めました。暑い中ではありましたが、各チームはベストを尽くし、楽しく、親睦を深めていただけたと思います。

また、大会スタッフである建築士会尾道支部青年部の皆が、この大会に向けての準備、当日の役割分担等を一致団結して行ったことが、私にとってはとても頼もしく思えました。いろいろ不行き届きなどもありましたが、今後少しずつ改善していき、出場される皆様に心地よく親睦を深めいただけるよう、盛り上げていきたいと思っています。

試合の結果は次の通りです。

参加チーム	15チーム
優勝	株式会社 塩田
準優勝	株式会社 アマノ
3位	株式会社 アリックス
3位	株式会社 はまはら



2007 Information Calendar 9月・10月の行事予定

9 September

- 7 金・カープ観戦会(広島支部)
- 11 火・一級・木造「学科の合格発表」(予定)
- 13 木・青年部定例会(尾道支部)
- 15 土・支部対抗ソフトボール大会(主幹:広島支部)
- 16 日・二級建築士試験・設計製図(県立広島工業高校)
- 20 木・まちづくり研究会(広島支部・日本建築学会中国支部共催)
- 23 日・第4回まちづくり学習会(主幹:福山支部)
・呉地区・福山支部女性委員会交流会
- 26 水・専攻建築士登録申請説明会(広島)
- 29 土・専攻建築士登録申請説明会(広島)
・一級建築士試験製図対策講座(福山支部青年部会)
- 30 日・専攻建築士登録申請説明会(尾道)
・一級建築士試験製図対策講座(福山支部青年部会)
・剣山ウォーキング登山(福山支部)



10 October

- 11 木・青年部定例会(尾道支部)
- 14 日・一級・木造建築士試験・設計製図(県立広島工業高校)
- 17 水・被災建築物応急危険度判定士講習会(福山土木建築会館)
- 20 土・被災建築物応急危険度判定士講習会(広島県情報プラザ)
- 27 土・住宅月間行事(県北支部)
- 28 日・住宅月間行事(県北支部)